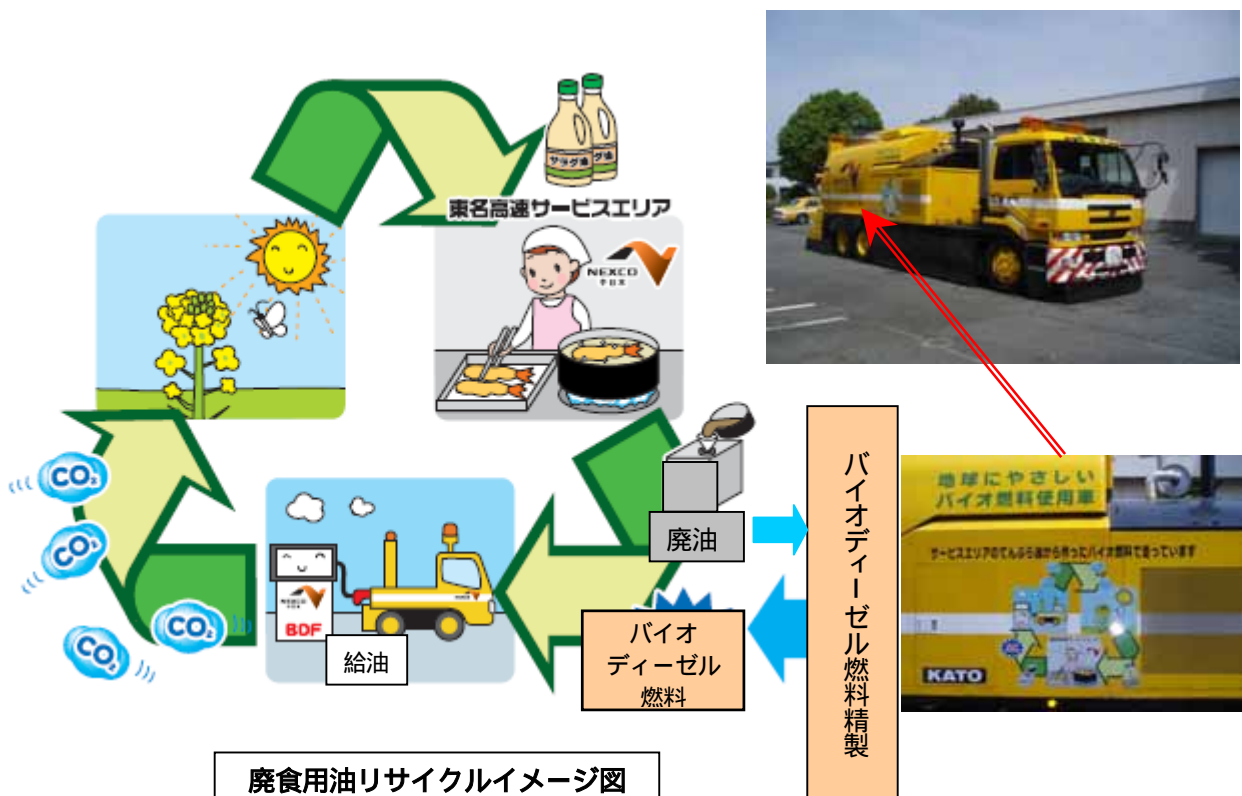


環境に配慮した取り組みの紹介

てんぷら廃油のリサイクルについて（2008年度の利用状況の報告）

- ・ 東名高速道路を管理する富士保全・サービスセンターでは、サービスエリアなどで使用したてんぷら油の廃油をリサイクルしたバイオディーゼル燃料の使用を、2006年12月より標識車両2台で開始しました。
- ・ 2008年度は、標識車両に加え路面清掃車両(スーパー)など5台の車両で、約14,000リットルのバイオディーゼル燃料を利用しました。
- ・ 同量の軽油を使用しないため、約36トンのCO₂排出量の抑制になったと推計されます。
- ・ 2008年9月より、名神高速道路などを管理する彦根保全・サービスセンターでも、バイオディーゼル燃料の使用を始めました。
- ・ 彦根保全・サービスセンターでは、軽油に5%のバイオディーゼル燃料を混合した燃料を使用しております。
- ・ 2008年度のバイオディーゼル燃料使用量は約600リットルで、約1.6トンのCO₂排出量の抑制になったと推計されます。

NEXCO中日本では、今後もバイオディーゼル燃料を引き続き利用し、使用箇所の拡大も検討して参ります。



【手持ち資料】 環境に配慮した取り組みの紹介（定例会見 2009.5）

年度	富士		彦根	
	バイオ燃料使用量	CO2 排出抑制量	バイオ燃料使用量	CO2 排出抑制量
19	6,800	17t		
20	14,000	36t	600	1t
計	20,000	53t		

てんぷら油は、植物が光合成で大気中のCO₂を吸収して成長した菜種から作られたものであり、バイオディーゼル燃料を燃やしても吸収したCO₂が再び大気中に戻ったことになるため、CO₂排出量の増加にはならないと考えました。

軽油1リットル当たりCO₂排出量2.6kgで換算しました。

彦根保全・サービスセンターでの混合軽油使用量は約12,000リットルです。

車両の点検を定期的に行っていますので、今までエンジントラブル等の大きな不具合は発生していません。

以上